

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、厚生労働省保険局医療課長発通知(平成 26 年 12 月 26 日付.保医発 1226 第 1 号.平成 27 年 1 月 1 日適用)により、下記検査項目の保険請求が可能となりました。

今回の新規保険収載に伴い、下記検査項目の新規受託を開始させていただく事に致しましたので、ご案内申し上げます。

敬 白

2015 年 4 月

【記】

◇新規検査項目

項目コード:5466

M2BPGi(Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)

受託開始日:2015年4月20日(月)受付分より

ウイルス肝炎は、日本では約 300 万人が感染する国内最大の感染症であり、感染した状態を放置すると、肝細胞癌へ進行する可能性があるなど、重篤な病態を招く疾患です。

ウイルス性慢性肝炎から肝細胞癌へ進行する過程では、線維に富んだ組織が肝臓に蓄積し、肝臓の機能が徐々に損なわれていきます。ウイルス性慢性肝炎の治療プロセスにおいては、進行する肝臓の線維化の程度を判定することが重要であり、その検査は肝臓組織を採取して行う生体組織診断が主流となっております。しかし、この生体組織診断は入院だけでなく、侵襲性が高いことから、身体的、経済的な側面で患者さんの負担が大きい事が課題でした。

本検査は、血液検査によって、慢性肝炎・肝硬変へ至る肝臓の線維化の進行の程度を判定することが出来る為、慢性肝炎に起因する疾病の早期発見や治療モニタリングにおける患者さんの負担軽減が期待できます。

※ 検査要項は裏面をご参照下さい。

◇検査要項

検査項目名	M2BPGi(Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)
項目コード	5466
検体必要量	血清0.5ml
容器	□:分離剤入り容器
保存方法	冷蔵
検査方法	CLEIA法
所要日数	3日～7日
基準範囲	判定 :(-) カットオフインデックス:1.00未満
判定基準	判定 カットオフインデックス (-) 1.00未満 (1+) 1.00～3.00未満 (2+) 3.00以上
単位	なし
検査実施料	200点 ^{※1,2} ([D215-2]肝硬度測定)
判断料	144点(生化学検査(I)判断料)
備考	※1:慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。 ※2:M2BPGi、P-Ⅲ-P、Ⅳ型コラーゲン、Ⅳ型コラーゲン・7S、ヒアルロン酸、プロリルヒドロキシラーゼ(PH)を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。